

平成29年12月3日

市民ワークショップ 資料



COOL JAPAN
FOREST 構想

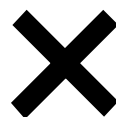
～新しい物語を所沢から～

所沢市 経営企画部 経営企画課
総合戦略推進室

COOL JAPAN FOREST構想とは



とほろざわ



KADOKAWA

産官共同による、文化と自然が共生した

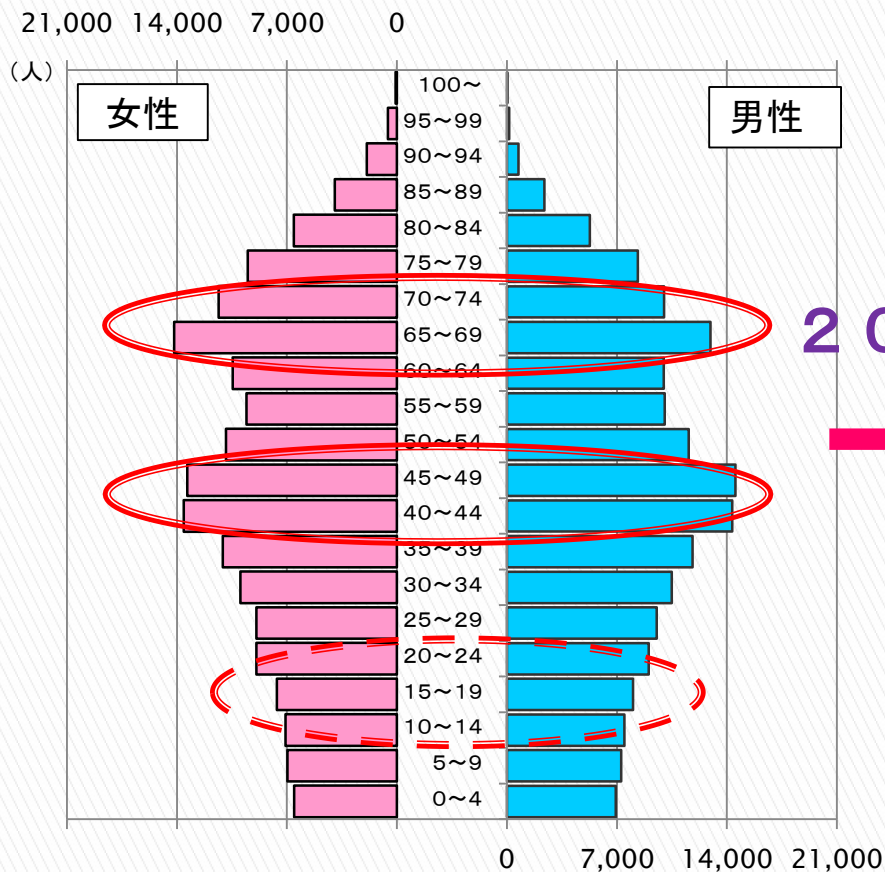
誰もが「**住んでみたい 訪れてみたい**」地域づくり

所沢市の人口ピラミッド

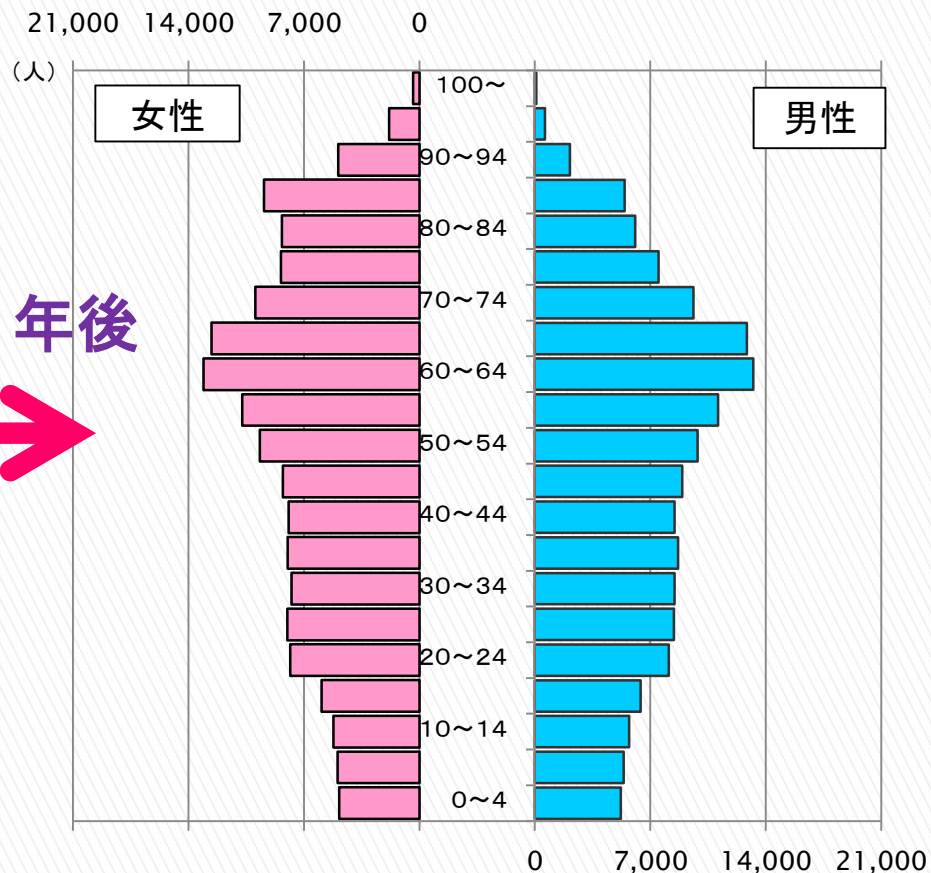
3人に1人が高齢者に。
人口減少・極端な少子高齢化

平成28年 12月現在

平成48年 12月 (推計)



20年後



所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

まちの魅力・産業の力・みんなの安心・暮らしやすさで

- **生産年齢人口の確保**
- **急激な人口減少の緩和** を目指す

今後5年間は「**魅力**」と「**元気**」に重点
「**安心**」につながる 土台作り を進める

重点プロジェクト

- (1) 「**COOL JAPAN FOREST構想**」の推進
- (2) 「産業用地創出」による産業振興
- (3) 「所沢駅周辺」の開発と まちの活性化
- (4) 「水とみどりがつくるネットワーク」の構築

構想の位置づけ

- **第5次所沢市総合計画 後期基本計画**
(H27~H30)

総合的に取り組む重点課題

- 4 **所沢ブランドの推進とまちの活性化**

- (3) **まちへの誇りや愛着の醸成**



- **所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略**
(H27~H31)

重点プロジェクト **「COOL JAPAN FOREST構想」の推進**

構想のきっかけ／それぞれの課題



ところざわ

人口減少社会の中での **生産年齢人口**確保

約37,000m²の **市有地** の有効活用

(旧所沢浄化センター跡地)



KADOKAWA

書籍市場復権に向けた **新たなビジネスモデル**

生産・物流 体制の刷新・効率化

(老朽化した三芳町 製造・物流設備の一新)

共同プロジェクトに至った経緯

旧所沢浄化センター跡地（準工業地域）売却検討

2014年（平成26年）1月 プロポーザル方式の募集要項を公開
（最低売却価格16億円・解体費用を含む 企画提案入札）

売却先が **KADOKAWA** に決定

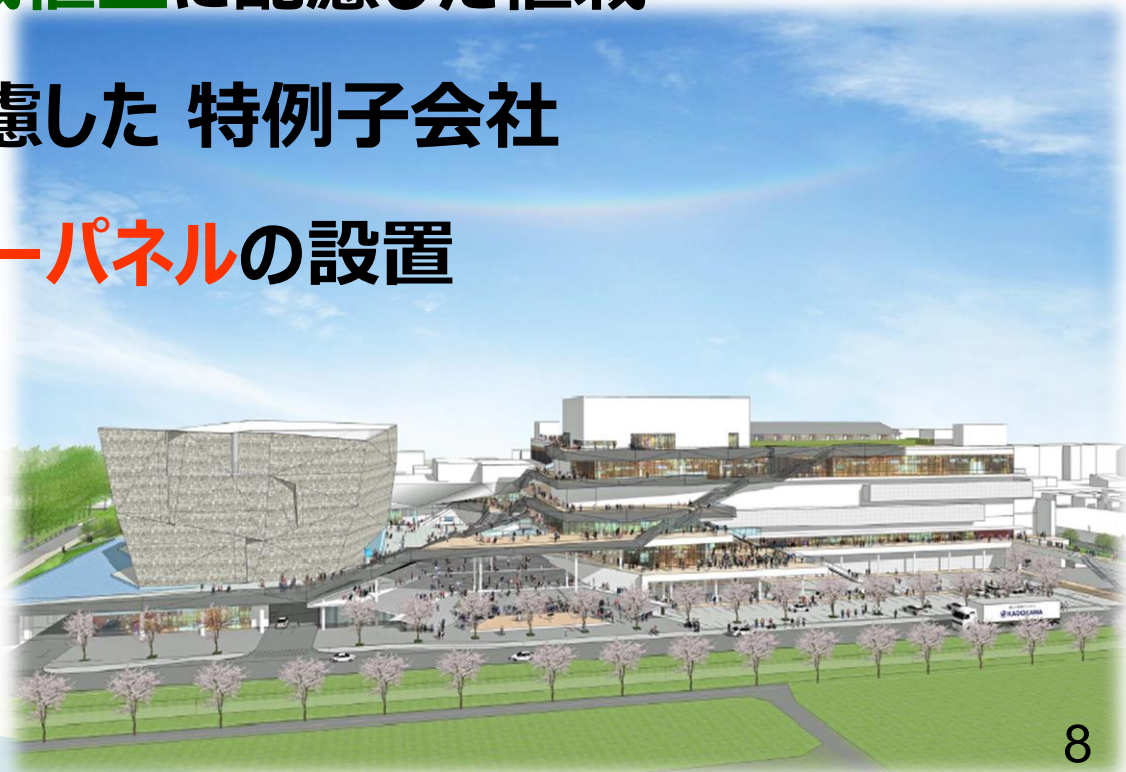
2014年（平成26年）5月 基本協定書締結
売却額 **約 33億円**は、マチエコ基金、施設整備基金等に活用

2015年（平成27年）6月
KADOKAWAの提案をきっかけに 共同プロジェクト発足

「公共貢献機能を活かしたまちづくり」

提案された主な公共貢献機能

- 図書館・美術館等の文化施設
- 自由に往来できる開放されたスペース
- 生物多様性・地域植生に配慮した植栽
- 障害者雇用 に配慮した 特例子会社
- 屋上緑化・ソーラーパネルの設置



国の地方創生交付金を活用して

「COOL JAPAN FOREST構想」 策定

2016年（平成28年）3月



「COOL JAPAN FOREST構想の推進に関する協定」

2016年（平成28年）
6月10日締結



COOL JAPAN FOREST構想



COOL JAPAN
FOREST

- ① みどり・文化・産業が
調和した地域づくり**
- ② 所沢からクールジャパンを発信**
- ③ 新しい地方創生を体現**
- ④ 住んでみたい・訪れてみたいまち**

① みどり・文化・産業が調和した地域づくり

新たな地域のあり方を提示

- ①みどり ②文化 ③産業 住みたい・訪れたいまちに！
(憩い) (生活) (仕事)
- 職住近接 / 所沢シリコンバレー

② 所沢からクールジャパンを発信

魅力発信 観光客を呼び込む

- 所沢市の魅力と KADOKAWAの情報発信力を発揮
- アニメ、ゲーム etc…、所沢市の地域資源 (自然、農産物、伝統文化)
クールジャパンパッケージ化で世界に発信



③ 新しい地方創生を体現

先駆性が高い新たな地方創生

- 企画段階から 産官共同で取り組む
- 「経営ノウハウ」と、「地域マネジメント」の相互作用
- 先駆性が高く「地域再生計画」認定

④ 住んでみたい・訪れてみたいまち

「住み続けたい・再び訪れたいまち」に

- 愛着と誇りに感じるまち 都市ブランドの向上
- 観光・産業による新たな人の流れ
- 「水とみどりがつくるネットワーク」／所沢市全体、周辺地域へ

CJF構想のマイルストーン

(3) 未来への飛翔期：2026年以降

「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現

(2) 成果創出期：2020年～2025年

クールジャパンを世界に発信
特徴ある産業エリア創出による産業振興
広域的な観光連動／経済効果の広がり

(1) 基盤整備期：2016年～2019年

「ところざわサクラタウン」完成
周辺環境整備
交通アクセス構築

アクションプラン

【所沢市×KADOKAWA】

- ・ 所沢市×KADOKAWAの **魅力** 発信
- ・ 特徴ある **産業エリア** 創出
- ・ **海外観光客** の受入体制 / **地元農産物** PR

【所沢市】

- ・ 道路や公園等 **周辺整備** / 土地利用転換 **企業誘致**

【KADOKAWA】

- ・ 「ところざわサクラタウン」 **建設・運営**
- ・ クールジャパンの **発信** / ベンチャー・ **人材育成**





COOL JAPAN
FOREST

重点推進エリア

COOL JAPAN FOREST

構想に基づく整備や事業を重点的に行うエリア
ところざわサクラタウンを中心にした半径 約500m圏

拠点施設

ところざわサクラタウン

創業70年「株式会社KADOKAWA」の総力を結集
クールジャパンを世界に発信する総本山

ところざわサクラタウンを中心に 半径500m

重点推進エリア: **COOL JAPAN FOREST**

国道463号線

所沢駅

所沢IC

ところざわサクラタウン

計画地

JR東所沢駅

地元産業・イベント
とのコラボ

東川沿いを散策

バス路線誘致

エリア内の交通円滑化

地元農作物PR

文化・教育エリア

ところざわサクラタウン
所沢から日本文化を世界に発信

IT産業・コンテンツ産業
などの先端産業集積地

無料Wi-Fiエリア

KADOKAWAのコンテンツを
活かした街並みの整備

エリアイメージ

重点推進エリア

COOL JAPAN FOREST

憩いの場、人が暮らす場、仕事をする場が
ひとつのエリアに

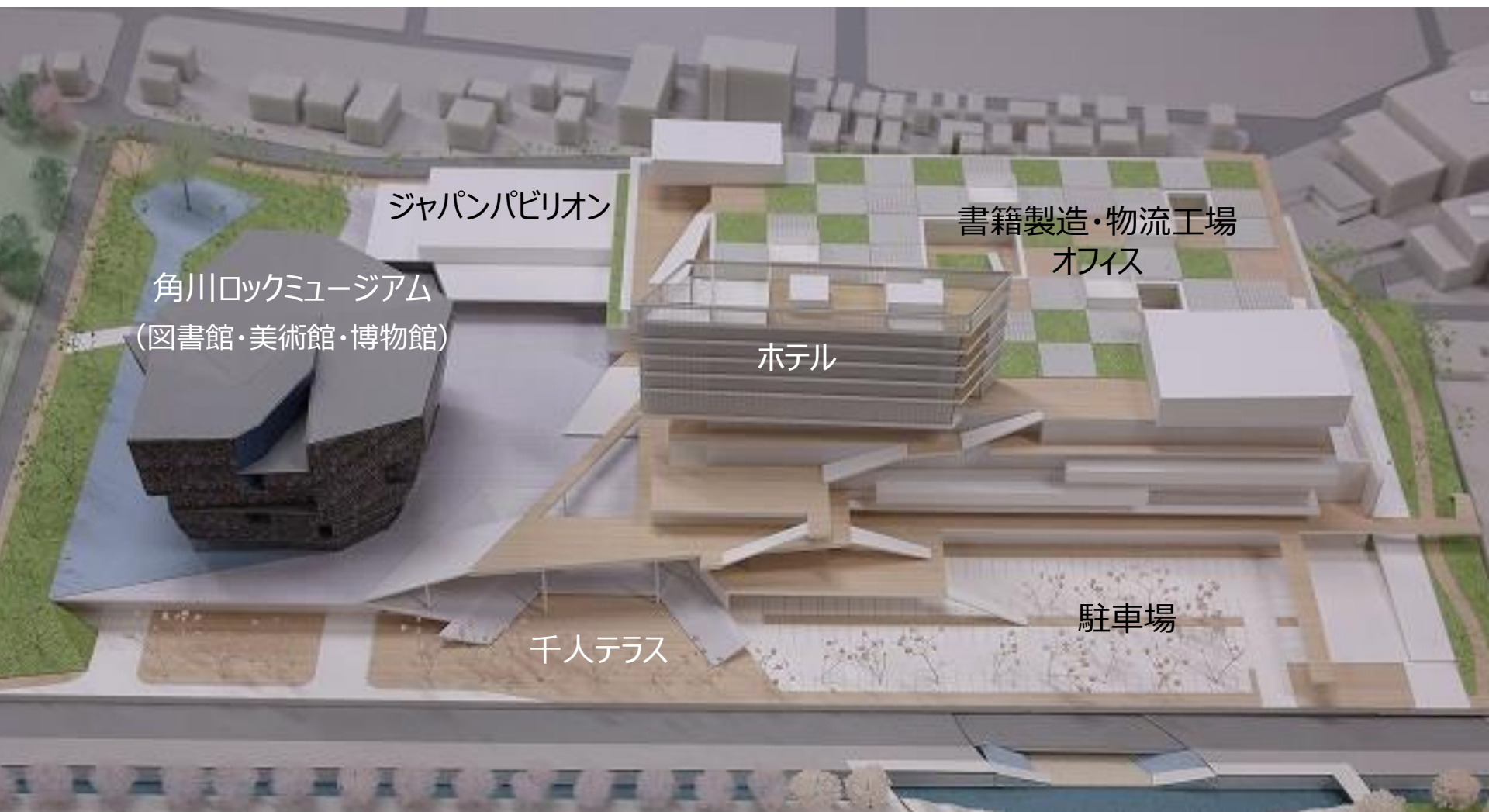
地元産業・イベントとのコラボ

JR武蔵野線 東所沢駅

無料Wi-Fiエリア

地元産業・イベント
とのコラボ

ところざわサクラタウン 完成予想模型



ところざわサクラタウン

東所沢和田3丁目31番地の3、11、14 / 40,332m²

● 書籍製造・物流／オフィス

取得価額 399億円 (KADOKAWA自己資金を充当)

地上 6階、地下 2階 高さ 41.38m

建築面積 23,831m² / 延床面積 83,221m²

- ◇ デジタル製造・物流のプラットフォーム (製造・物流一体の働く場)
- ◇ 最新技術の印刷製本機 (プリント オン デマンド)
- ◇ 「ワークスタイル改革」を生み出すワンフロア・オフィス
(約3,000坪)

ところざわサクラタウン

● 角川ロックミュージアム (デザイン監修：隈 研吾 氏)

世界初の図書館・美術館・博物館の融合施設

図書館 … KADOKAWA所蔵書籍&発行書籍 35万冊の蔵書
ラノベ・マンガ図書館 (ライトノベル資料収集・研究)

美術館 … 南条 史生 監修 (近代美術、ポップアート)

博物館 … 荒俣 宏 監修 (妖怪、からくり人形、アニメ・ミュージアム)

◆ ジャパンパビリオン (イベントホール)

◆ 千人テラス (1500㎡の広場) ◆ ダ・ヴィンチストア (コンテンツショップ)

◆ 商店街、フードコート (採れたて地元産野菜等)

◆ ホテル (屋上庭園を楽しめるコンテンツ型ホテル・約30室)

◆ 開放されたスペース (自由に散策が楽しめる)

拠点施設： **ところざわサクラタウン**
クールジャパンの総本山

書籍製造・物流工場
オフィス・ホテル

角川ロックミュージアム
(図書館・美術館・博物館)

株式会社KADOKAWAが建設（2018年2月着工）

2020年 東京オリンピックまでにオープン
インバウンドを呼び込む／ポップカルチャー発信

周辺道路整備

土地利用転換
推進エリア

松郷工業団地

東所沢公園整備

コンポストセンター
跡地活用

広場

東川沿い
散策路整備

駅前通りからの
導線

市道2-572号線改良

衛生センター用地売却
衛生センター改修

